

# 武尊山シラカンバ遺伝資源希少個体群保護林

希少-45

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 利根沼田森林管理署
所在地	群馬県利根郡片品村
面積	8.60 ha
設定年	1990(H2)年
保護林の概要 (設定目的)	南東北及び関東地方において、他には類を見ないシラカンバが高密度で育する群落であり、学術上、また、遺伝資源の保護上貴重であることから、シラカンバが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定した。



シラカンバ群落(2019.08.08撮影)



シラカンバ群落(2019.08.08撮影)

## モニタリング調査概要

実施年度	2009年、2014年、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、シラカンバの生育地において調査プロットを合計2箇所設定し、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	当面はシラカンバ林として維持されるものと思われるが、多くのものに樹勢の衰えや枯損が目立ち始めており、次世代を担うシラカンバの垂高木、低木、稚樹が全く見られず、今後シラカンバは消失し、他の樹種が優占する林に遷移していくと評価される。保護林内のシラカンバは、林内に生育する落葉高木との競合が著しいため、光合成量が減少し、枯死に至っているものと考えられる。林木遺伝資源保存林の設定目的に鑑み、保存対象樹種であるシラカンバを維持していくための対策に着手することが必要である。方策としては、シラカンバと上層で競合する落葉広葉樹の伐倒管理と、保護林隣接地や当該地域周辺において、若齢からなるシラカンバ林の保護林への新規設定が考えられる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。